



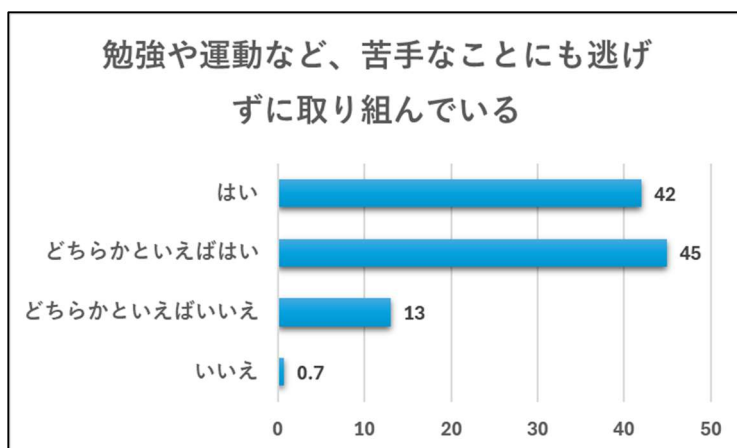
### 前期学校評価について

令和7年度白根第一中学校教育ビジョンは、『自己実現に向けて挑戦し続ける生徒』の育成を重点とし、「新潟市教育振興基本計画～にいがた学びのコンパス」、「文部科学省が示す『社会環境の変化と求められる人物像』」経済産業省が示す「職場や地域社会で、多様な人々と仕事（活動）をしていくために必要な基礎的な力＝社会的基礎力」を鑑み、「アクション：前に踏み出す力」、「シンキング：考え抜く力」、「チームワーク：チームで働く力」を育むよう教育活動を進めてきました。このたび、前期のアンケート結果がまとまりましたのでお知らせします。

#### 1 アクション：前に踏み出す力

「勉強や運動等、苦手なことにも前向きに取り組んでいるか」という問いに対して、「はい」または「どちらかといえばはい」と肯定的な回答をした生徒の割合は87%でした。

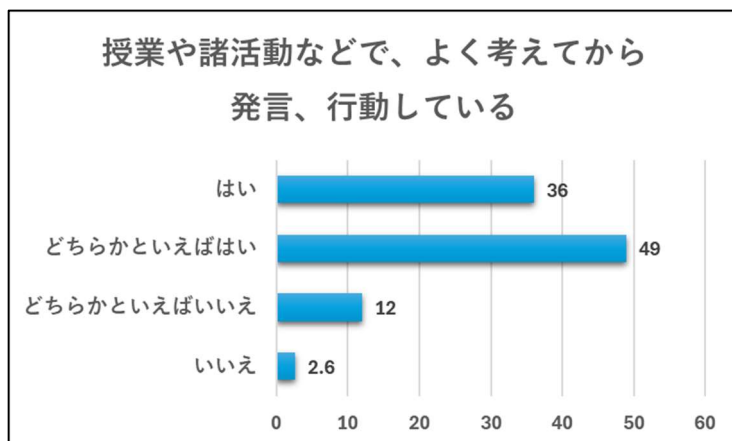
多くの生徒が学習や諸活動に意欲的に取り組んでいる様子がうかがえます。しかし、頑張り方が分からず一歩を踏み出せない生徒もいます。今後もさらに個々をよく見取り、頑張りや努力を認めることで生徒の自己肯定感を高め、前に踏み出す力を身につけさせていきたいと思います。また、学校行事等の場面を活用し、「挑戦した！頑張った！できた！」などを生徒同士で認め合う場面も設定していきます。



#### 2 シンキング：考え抜く力

「授業や諸活動等で、よく考えて行動しているか」という問いに対して、肯定的な回答をした生徒は85%でした。

この質問に対して、昨年度よりも10%ほど肯定的回答が増加しました。「知的好奇心を高める課題設定による授業」や「話し合い活動」を取り入れる等の取組が少しずつ成果となって現れていると感じます。また、日常の諸活動でも、目標を立てたり、目標実現のために今何をすべきかを考えたりする場面を設け、「振り返り」を通してスモールステップで生徒自身が進歩や成長を実感できるようにしていきます。

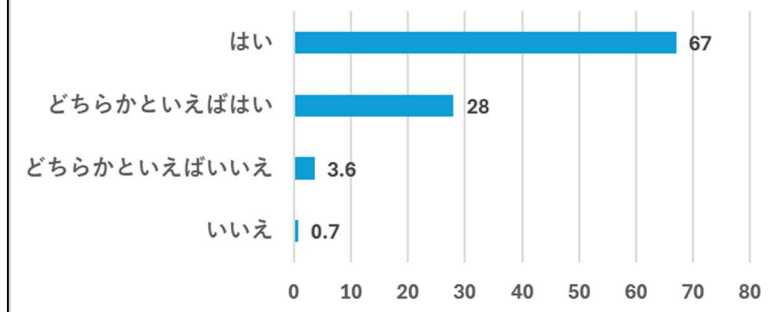


### 3 チームワーク：チームで働く力

「他の生徒と協力して、学習や諸活動に取り組んでいるか」という問いに対しては、95%の生徒が肯定的な評価をしています。人懐こく、様々な活動に協力的な白根一中生の良いところがこの数値に反映されていると思います。

しかし、低い評価をつけている生徒もあり、人間関係でトラブルを抱えていたり、力があるのになかなか人前で活躍できなかったりすることが原因となっていることが多いようです。そこで、活動をしやすいようにサポートする、グループ作りに配慮する、できていることを認め、声かけをする等の工夫をしています。

他の生徒と協力して、学習や諸活動に取り組んでいる



この3つの力を育てていくために共通しているのは『自己肯定感』です。「自分には良いところがある」「自分はやればできる」「自分は周囲の役に立っている」と実感することで、前に踏み出す勇気が生まれ、よりよいものを作り出そうと考える姿勢が生まれ、友達を思いやり協力して活動しようとする態度が育つのだと思います。生徒の「学校生活アンケート」では、自己肯定感に関する項目で肯定的な評価をしている生徒が80%でした。

今後も、「アクション」「シンキング」「チームワーク」を合言葉に、「目標に向かってチャレンジする生徒、よりよいものを求め考え抜く生徒、他者の立場を理解し協力しながら活動できる生徒」の育成を推し進めていきます。保護者の皆様には、今後ともご支援、ご協力いただきますよう、お願いいたします。



白根大風合戦



体育祭連合色決め



授業の様子



生徒総会



市内大会激励会



校内球技大会